

海外派遣留学プログラム報告書

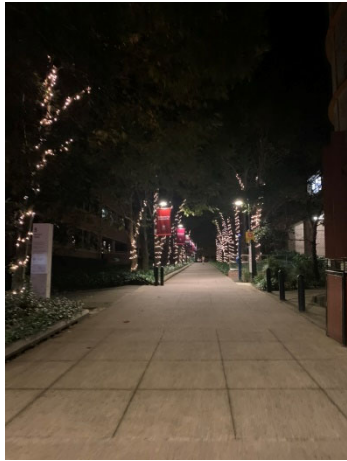
(報告期間：2023/02/10 ～2023/04/05)

1. 勉学の状況

勉学自体に問題はありませんが、授業で扱われている英語で少し苦戦しています。個人的に資料で論文を読む必要があるときが一番大変だと思います。プログラミング系の授業を履修しており、時にはグループプロジェクトに取り掛かる時もありますが、やはり問題は授業で扱われている内容というよりチームメイトとの意思疎通が難関だと感じます。

2. 生活の状況

現在の生活として、日中は学校に行き、夜は友達と家か外出して遊ぶという感じです。渡航してすぐルームメイトと仲良くなり、その繋がりですべて寮に住んでいる十数人のグループと日々を楽しんでいます。自分以外全員欧米人かオーストラリア人のため、cultural difference は時々感じますが、みんないい人で結構接しやすいです。日本の居酒屋文化がない代わりに、だいたいバーやクラブに行きます。たまにビーチや公園でピクニック、おしゃれな格好をしてオペラハウスに行ったりもしていたので、シドニーの文化色を堪能できていると思います。



海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2023/04/6 ～2023/08/9)

1. 勉学の状況

一学期の授業とテストを終えて、とりあえず悪くない成績を取得できたので安心しています。反省点として前期は提出物のスケジュールにルーズすぎて余計なペナルティーを受けたので、後期は時間に余裕を持って提出物に取り組みたいです。また授業で使う専門の英語に多少は慣れてきたので、以前よりもグループワークと先生との質疑応答が上手くいっています。第二学期ということで内容自体も少し高度になっているのでやりごたえを感じていて、上手く乗り越えていきたいです。

2. 生活の状況

前期が終わるまで最初に知り合った留学生がメインのフレンドグループと毎日のように遊び、充実した私生活を送りました。全員6、7月中に帰国したので、新学期は残った現地生と新しく来た留学生でフレンドグループを作り、前期に近い充実度の日常を過ごすこと目的です。前期はパーティーやクラブにばかり行っていたので、今学期はショッピングやカフェ巡りなど、日中の生活も楽しもうと思います。



海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2023/08/10 ～2023/12/31)

1. 勉学の状況

当然ですが二学期に入ってから授業は一学期より難しくなっており、一学期ほど軽い気持ちで臨んではいけない状況でした。英語力はかなり伸びたので授業の聞き取りはもう問題ないと思いきや、今度は逆に先生のアクセントが強いので、そこで苦戦する場面がありました。二学期もグループワークの授業があり、グループメンバーで自分も含めてモチベーションが全体的に低く、最終課題のクオリティーが低かったのが残念です。全体的に授業を一通り終えて、二学期に入ってから一学期よりさらに怠けたとは感じます。反省するべきだと思います。



2. 生活の状況

一学期の友達がほとんど国に帰って、新学期に同じような友達グループができるか不安でしたが、結果的には親友の中の親友と呼べるような人たちとまた出会えてよかったです。二学期はハロウィーン、クリスマス、カナダの感謝祭などの祝日があり、それらを祝うパーティーを開いたり、一学期ではあまり行っていなかったクラブやバーを中心にまた充実したナイトライフを過ごし、一学期から引き続き存分生活を楽しめたと思います。

